

災害に強いまちづくりに向けて

「東日本大震災」の発生から1年。これからも、「自助」「共助」「公助」の連携による防災対策を進めていきます。

災害時医療救護所の態勢について

地域の開設箇所をお知らせします

大規模災害時、市内に多数の負傷者が発生した場合の初期医療救護活動のため、被害状況に応じて、市では関係機関と連携し医療救護所を開設します。

【医療救護所が開設される状況】

- (1)医療機関が被災し、診療が難しい場合
- (2)傷病者が多数で医療機関だけでは対応できない場合
- (3)医療機関への傷病者の搬送に時間がかかる場合

なお、医療救護所は傷病者の発生状況に応じて開設期間が決定されます。

首都直下地震の切迫性が高まる中、今後も「災害に強いまちづくり」に向けた態勢づくりを進めていきます。

◆危機管理室 係 (☎042-438-4010)



医療救護所マップ

- ① 第1医療救護所【青嵐中】
- ② 第2医療救護所【明保中】
- ③ 第3医療救護所【谷戸小】
- ④ 第4医療救護所【田無第三中】
- ⑤ 第5医療救護所【田無第四中】

医療救護所一覧

救護所名	エリア	負傷者参集場所 (トリアージ実施場所)	医療救護所 開設場所
第1 医療救護所	北部エリア ⇒北町・下保谷・栄町・ひばりが丘北	青嵐中学校 グラウンド	青嵐中学校
第2 医療救護所	東部エリア ⇒東町・中町・富士町	文理台公園	明保中学校
第3 医療救護所	中部エリア ⇒住吉町・泉町・北原町・保谷町・谷戸町・緑町・ひばりが丘	西東京 いこいの森公園	谷戸小学校
第4 医療救護所	西部エリア ⇒田無町・西原町・芝久保町	田無第三中学校 グラウンド	田無第三中学校
第5 医療救護所	南部エリア ⇒東伏見・柳沢・南町・向台町・新町	田無第四中学校 グラウンド	田無第四中学校

防災ガイド ①

～日ごろの備え～

地震発生！ 「まずは身の安全！」

「東日本大震災」から1年が経過し、震災からの教訓を生かし、市民の皆さんに災害への「備え」をお伝えするために、定期的に『防災ガイド』の掲載を行います。ぜひ、ご活用ください。

突然の大きな揺れに襲われた時、適切な行動がとれるかどうかは非常に重要です。

昨年3月の「東日本大震災」発生後、東京消防庁が行ったアンケート調査では、大地震が起きたら「火の元を確認する」と回答した人が多く、「身の安全を図る」と回答した人が少ないことがわかりました。

地震が起きた時は、何よりも「ケガをしない」「自分の命を守る」ことが大切です！地震の揺れを感じたら、まず身の安全を最優先に行動しましょう！

昨年の地震発生時には、市内でもマイコンメーターの作動によりガス供給の遮断が多くあったように、現在多くの火気器具などには、自動的に出火防止を行う装置を備えたもの

が多く普及しています。万が一出火した場合でも、落ち着いて行動すれば、揺れが収まってからでも十分消火することができます。

逆に、激しい揺れの中で慌てて火を消そうとすると、転倒したり鍋のお湯をかぶるなど、かえって危険な場合があります。

「揺れたら、まずは身の安全！」
ぜひ日ごろから、家庭や職場で確認してください！

◆危機管理室 係 (☎042-438-4010)



防災市民組織リーダーなど研修会を開催します

防災を考え、作ってませんか「ミニミニ地域防災計画」

ミニミニ地域防災計画は、地域のコミュニティなどにおいて災害に対する備えとして、大いに役立つものです。この研修では、まずは自分の住んでいるところをよく知ることからはじめ、地域の課題を考えながらどう防災へ取り組みばよいのかを学びます。防災市民組織のリーダーの方はもちろん、防災に興味のある市民の方々もぜひご参加ください。

- ☎ 3月25日(日) 午前10時～正午
- 📍 防災センター6階
- 👤 防災市民組織リーダーおよび市民の方
- ◆危機管理室 係 (☎042-438-4010)



みんなの 伝言板

※特に記載のないものは、無料です。
※内容についてのお問い合わせは、各サークルへお願いします。

「みんなの伝言板」(サークル紹介)は、個人情報が含まれているため、削除してあります。